



あなたを見守る duranta コミュニケーション

モバイル心電計『duranta (デュランタ)』は、いつでも、どこでも簡単に心電波形を確認することができます。

在宅診療で、患者様・患者ご家族に寄り添った医療を行う際の一つの補助ツールとしてお使い頂いております。

遠隔リアルタイムモニタリング

心拍低下アラートメール

7日間 充電なしで動く

お手持ちの iPhone / iPad



<事例：在宅療養支援診療所「川崎高津診療所」様>

遠隔心電計とは、患者の心電図が遠隔地にも見ることができる心電計とその通信システムです。ImageONE社のdurantaは、患者の前胸部に心電計を貼付し、心電図波形をBody Area Network (BAN)によりiPadに転送します。その場で心電図の波形を見ることができ、さらに4Gなどの通信回線を使って遠隔地のiPadでも波形を見ることができ、

これまでも同様の器材はありましたが、装着がコンパクトで患者に負担がない、ノイズが少なく、リアルタイムの波形や蓄積データの確認ができる点ですぐれたシステムといえます。

実際の臨床的なニーズとしては、特に独居老人の見守りや、終末期医療を自宅で受ける患者のモニタリングなどです。実際、このシステムを用いて患者の心電図モニタリングをおこなった検討では、遠隔地においても良好な心電図波形を得ることができました。技術的には問題なく使用できるかと思えます。

医療法人社団
ビジョナリー・ヘルスケア
理事長
川崎高津診療所 院長
松井英男様

<事例：特別養護老人ホーム「さくら」様>

看取りケアの充実のためにdurantaを活用しています。現在、介護保険サービスを提供する場においても終末期にあり、看取りケアを必要とする利用者様が増えています。当施設では、夜間は看護職が常駐しておらず、介護職が利用者様の变化を把握し、看護職に連絡をする『オンコール体制』をとっています。しかし、介護職の負担、看護職の『いつ呼ばれるのか・・・』などの不安は常にあります。今後増えていく看取りケアに対応するためにdurantaを利用しました。

看取り期の利用者様にdurantaを装着するだけで、自宅や移動中などでもiPadやiPhoneで心電波形を見ることができ、さらに異常時には自分の携帯電話にメールが送信されてくるので、予想がつき行動計画を立てることもできるようになりました。夜間対応している介護職とも電話だけでは不十分だった内容も、電話しながらバイタルデータが共有できるので、安心につながっています。

看取りケアは私たち施設職員の使命だと思えます。安心して施設で看取って頂くためにも、durantaを今後も活用していきたいと思えます。



社会福祉法人 入間川福祉会
特別養護老人ホームさくら
統括部長 大橋けい子様

お問合せ先

 株式会社 イメージワン

本社：〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア6F
電話：03-6233-3410(代表) FAX：03-6233-3411

■ 東北営業所 ■ 名古屋営業所 ■ 大阪営業所 ■ 九州営業所